

フクシアの育て方

分類 アカバナ科 フクシア属

分布 中南米と西インド諸島、ニュージーランド、タヒチ島

種類 原種：約100種、交配種：約2,000品種

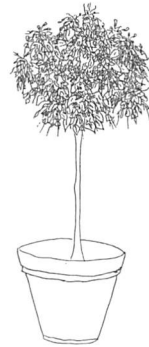
栽培管理の要点

仕立て方

茎が直立して伸長する種類と茎がやわらかく垂れ下がって伸長する種類とがあります。前者は株仕立てやスタンダード仕立て、後者はつり鉢仕立てに向いています。いずれの場合も、数回摘芯して枝数を増やします。



株仕立て



スタンダード仕立て



つり鉢仕立て

温度と光

生育適温は15～25℃です。暑さに弱いので、夏期は涼しい半日陰で栽培します。この際、つり鉢に植えておくと、夏越ししやすくなります。冬期は日当たりのよい場所で最低5～6℃以上に保ちます。

多くの種類が光の当たる時間が長い条件（長日条件）下で開花する性質をもつので、秋以降は開花しなくなりますが、夜間電灯の当たるところに置いておくと開花させることができます。

用土

排水性、保水性に富んだものを使います（例：赤玉土：ピートモス：川砂＝3：2：1）。

挿し木

5～6月に増殖または株の更新を目的に行います。特に小さな苗は暑さに強いので、親株よりも夏越ししやすいです。

病害虫

オンシツコナジラミが発生しやすいので、スプラサイド乳剤などの殺虫剤で定期的に防除します。また多湿にすると灰色カビ病が発生するので、ベンレート水和剤などの殺菌剤を散布します。



挿し木の仕方

年間管理表

管理	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
置き場所		日当たりのよい室内 最低5～6℃		日当たりのよい戸外				半日陰・遮光 風通しのよい場所		日当たりのよい戸外		日当たりのよい室内 最低5～6℃	
水やり		4～5日に1回		用土の表面が乾いたらたっぷり						1～2日に1回		4～5日に1回	
施肥		液肥を10日に1回				液肥を10日に1回							
作業						挿し木		鉢上げ・摘芯		植替え・剪定			

